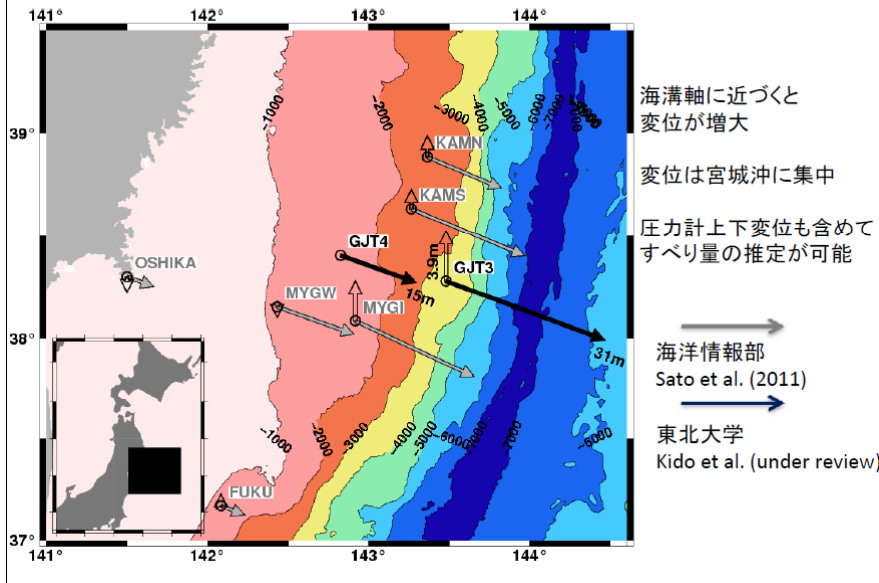
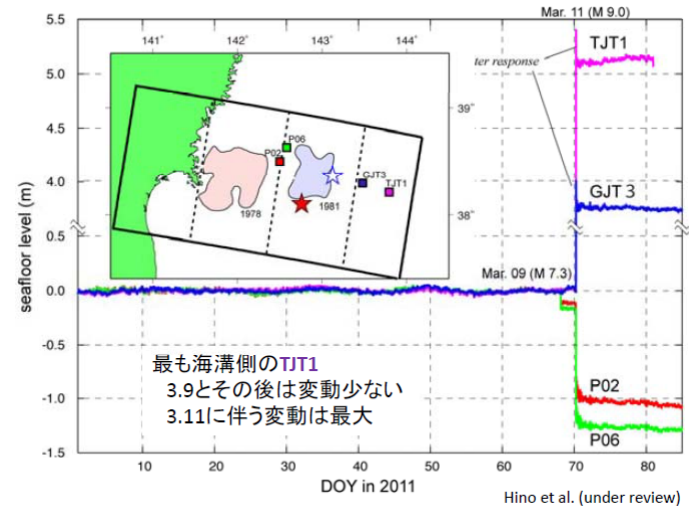


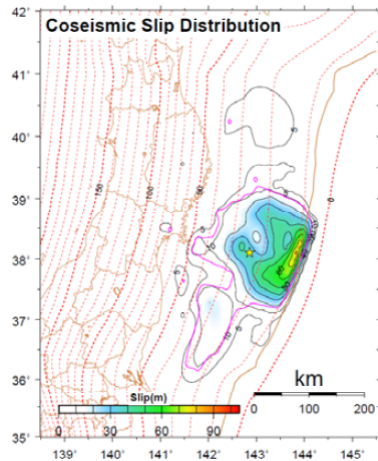
GPS/A観測による海底水平変動



水圧観測で捉えた海底上下変動



海陸全測地データから 推定された地震時すべり分布

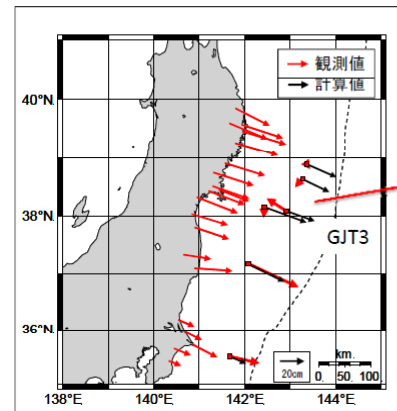


- 使用した測地データ
 - 陸上GPS観測点 (384点)
 - 海底GPS/A (7点)
 - 海底圧力計 (6点)
- すべり分布の特徴
 - 震源より海溝側に大変位すべりが集中
最大すべり量 : 85 m
すべり量が50m以上の範囲 : 120 x 40 km
(全体の60%のモーメント解放)
 - 南北にも限られた広がり
(37.5° ~ 39° N)
岩手・福島県沖の海溝沿いのすべり
は小さい

linuma et al. (under review)

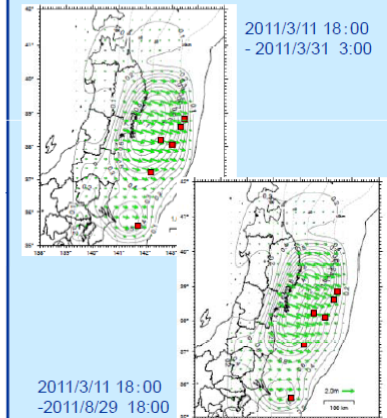
地震後の地殻変動(3月末~8月末)

2011年3月末~8月末までの変位量
(下里固定)



※陸上の矢印は、電子基準点の変位量
※計算値は、国土地理院のすべり分布モデルによる計算結果

地震後のすべり分布モデル 【国土地理院】



※国土地理院ホームページの図に加筆

佐藤・他 (2011)